

**平成23年度
小城市予算
主な事業説明書**

平成23年度小城市予算主な事業一覧

*新規事業

所 属	No	事 業 名	事業費:千円
総務部			
企画課	1	総合計画後期基本計画策定事業	5,537
	2	小城市地域公共交通活性化協議会負担事業	18,820
	3	生活交通路線バス運行費補助事業	4,460
	4	* CSO市民活動センターようこそ運営補助	1,424
	5	本庁舎増改築事業	1,158,000
市民部			
市民課	6	* 住民基本台帳システム改修事業	15,614
環境課	7	小城市中継センター運営事業	537,271
福祉部			
福祉課	8	総合福祉計画策定事業	3,080
	9	通所型介護予防事業	17,683
健康増進課	10	三日月保健福祉センター指定管理事業	43,942
	11	牛津保健福祉センター指定管理事業	45,259
	12	牛津保健福祉センター維持管理事業	16,222
	13	自殺対策事業	1,200
	14	子宮頸がんワクチン接種事業	25,472
	15	ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業	62,866
	16	* 高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業	6,750
産業部			
農林水産課	17	* 三日月南部共乾建設に伴う補助	2,000
	18	* 排水ポンプ設備に対する補助	3,238
	19	* 漁業経営構造改善事業	1,830
	20	* 沿岸漁業振興特別対策事業	2,712
農村整備課	21	* 国営総合農地防災事業佐賀中部地区負担金	773,000
	22	* 佐賀西部土地改良区(仮称)設立準備事務局負担金	6,650
	23	地域農業水利施設ストックマネジメント事業	10,072
	24	砥川地区鉾害復旧農業施設維持管理事業	253,490
商工観光課	25	即戦力企業誘致基盤整備事業	69,412
	26	小城市情報発信番組作成事業	20,389
	27	小城市宣伝隊事業	21,280

(裏面へ続く)

*新規事業

所 属	No	事 業 名	事業費:千円
建設部			
建設課	28	* 本庁舎アクセス道路整備事業	41,520
	29	道整備交付金事業 (市道)	82,745
	30	スマートインターチェンジ整備事業	8,138
都市整備推進室	31	中心市街地活性化事業	53,597
	32	* 小城市土地利用方針作成事業	7,119
	33	まちづくり交付金事業 (芦刈地区)	156,511
下水道課 (下水道特別会計)	34	特定環境保全公共下水道事業 (三日月処理区)	390,557
	35	特定環境保全公共下水道事業 (芦刈処理区)	345,051
	36	公共下水道事業 (牛津処理区)	821,390
教育委員会			
教育総務課	37	芦刈小学校建設事業	396,505
学校教育課	38	放課後児童健全育成事業	40,413
こども課	39	* 児童虐待防止対策強化事業	1,538
	40	* 地域子育て支援拠点事業	5,397
	41	特別保育事業	34,550
	42	児童手当・子ども手当事業	1,099,520
	43	認可保育園措置事業(私立保育園支援事業)	349,176
生涯学習課	44	* 学校・地域夢つなぎ応援事業	1,168
	45	* 小城市社会体育施設指定管理事業	40,490
文化課	46	* 中林梧竹没後100年記念事業	3,260

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	総合計画後期基本計画策定事業								政策名	総合計画体系	
担当部課	総務部 企画課								施策名		
予算科目	会計	款	項	目	事業				基本事業名		
	一般	2	1	7	5	8	1	総合計画費			
法令根拠	地方自治法第2条第4項										
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ～) ↳ (平成22 年度 ～ 平成23 年度)										

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

小城市総合計画は基本構想、基本計画で構成され、基本構想は平成19年～28年度、基本計画は平成19年～23年度の計画期間である。この前期計画の進捗状況を確認するとともに、後期計画（H24～H28）を策定する。

【内容】

H22年度：前期計画の進捗状況や問題点を洗い出すと共に、合併後5年間の市民の意識の変化状況を把握するためのアンケート調査を行う

H23年度：後期基本計画の原案を策定するため基本事業の見直し、審議会において審議をおこない、計画を決定する。事業費内訳としては、審議会委員の報酬30名分、後期基本計画計画書印刷製本及び目標指標の設定と基本事業の検討研修、議事録作成等の委託料である。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		3,612	5,537			
	事業費	0	3,612	5,537	0	0	0

総事業費 (単位:千円)		
財源内訳	国庫支出金	0
	都道府県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	9,149
	事業費計	9,149

事業費内訳 (単位:千円)	報酬	旅費	需用費	役務費	委託料		合 計
	918	8	1,491	46	3,074		5,537

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	小城市地域公共交通活性化協議会負担事業							政策名	総合計画体系	1	県央に光る交流拠点のまち
担当部課	総務部 企画課							施策名		4	道路・交通網の整備
予算科目	会計 一般	款 2	項 1	目 7	事業 7	1	7	基本事業名		4	公共交通の利便性向上
法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成21 年度 ～) ↳ (年度 ～ 年度)										

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

平成19年10月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が施行されたことにより、地域の関係者（市民、交通事業者、道路管理者、関係機関等）で構成する協議会が取り組む地域公共交通の活性化・再生に資する事業への補助制度が新たに創設された。

そのため、本市においても平成21年1月に18名の委員から構成する「小城市地域公共交通活性化協議会」を設置し、総合連携計画及び事業計画を策定を行い、国からの事業採択を受け、平成21年度から2年間、市内5路線における市内巡回バス・タクシーの実証運行、利便性向上のための環境整備事業及び利用の動機づけとなる事業を実施した。

平成23年度も、協議会において巡回バス等の運行事業を継続し実施する。

【内容】

- ・巡回バス運行事業
・広域循環バス運行事業
・芦刈町コミュニティタクシー運行事業
- 各事業への負担を行う。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	18,321	13,931	18,820	18,820	18,820	18,820
事業費		18,321	13,931	18,820	18,820	18,820	18,820

期間限定事業） 全体計画	総事業費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	負担金、補助 及び交付金	合 計
	18,820	18,820

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	生活交通路線バス運行費補助事業							政策名	総合計画体系 ① 県央に光る交流拠点のまち ④ 道路・交通網の整備 ④ 公共交通の利便性向上
担当部課	総務部 企画課							施策名	
予算科目	会計	款	項	目	事業			基本事業名	
	一般	2	1	7	7	1	7	公共交通事業	
法令根拠	バス運行対策費補助金交付要綱(平成13年5月15日国自旅第16号)生活交通路線維持費国库補助金								
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (平成22 年度 ~ 平成25 年度)								

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

生活交通路線の佐賀線、武雄線については、県内の都市どうしを結ぶ広域的な路線バスであるが、赤字路線であるため国・県からの生活交通路線維持費補助の支援により維持されている。

国・県補助金については一部カットが行われており、運行事業者は赤字を抱えたまま路線の維持に努めている。

佐賀線、武雄線を維持し、市民の生活に直結する生活交通路線を確保するため、沿線市町と連携しながら支援を行う。

※佐賀線：鹿島市から佐賀市の佐賀バスセンター間(37.5km、平日12往復・土日祝11往復、小城市内バス停乗降数(1日当たり平均)68.4人)

武雄線：武雄市から佐賀市の佐賀バスセンター間(34.7km、平日15往復・土日祝11往復、小城市内バス停乗降数(1日当たり平均) 72.3人)

【内容】

国・県の補助金がカットされた額を、沿線市町の距離按分により計算した額を運行事業者へ補助をする。

但し、平成25年度までの期間とし、平成26年度以降については、今後県及び沿線市町で検討を行う。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		2,039	4,460	4,460	4,460	
事業費		0	2,039	4,460	4,460	4,460	

期間限定事業） 全体計画	総事業費 (単位：千円)	
	財源内訳	国庫支出金 0
		都道府県支出金 0
		地方債 0
		その他 0
		一般財源 15,419
	事業費計 15,419	

事業費内訳 (単位:千円)	負担金、補助 及び交付金		合 計
	4,460		4,460

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	CSO市民活動センターようこそ運営補助						政策名	総合計画体系	6	共につくる新しいまち
担当部課	総務部 企画課						施策名		4	市民と行政との協働体制の確立
予算科目	会計 一般	款 2	項 1	目 8	事業 61	市民協働推進事業	基本事業名		3	計画策定・政策形成過程への参画・協働の促進
法令根拠										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成23 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)									

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

多種多様化する市民ニーズに対応するため、行政サービスのみならずCSOによる迅速かつ柔軟なサービス提供が求められている。そのような中で、市内の多様なCSOが集い、情報交換・交流等を通じて地域の課題解決に向け取り組むことにより、協働によるまちづくりを推進するもので、その拠点としての市民活動センターようその運営について支援を行う。

【内容】

CSO市民活動センターようこそは、「佐賀県CSO活動拠点設置事業」の補助金（CSO活動拠点施設開設に必要な備品・機材購入と施設改修費及び維持管理費について3年間の補助）を受け、小城市では「CSO市民活動センターようこそ」が平成21年3月に開設され、現在「小城市男女共同参画ネットワーク」が運営。

佐賀県から派遣されているCSO拠点サポーターと運営団体の「小城市男女共同参画ネットワーク」により自主事業、委託事業、情報提供、情報収集等を行っている。

小城市にとって中間支援組織は、市民協働による地域の課題解決のためのCSOが集える拠点として必要不可欠との観点から、県の補助金が切れる平成23年度からは市がこの「ようこそ」に対して補助金を交付し、充実と維持を図る。

*CSOとは…Civil(シビル) Society(ソサエティー) Organizations(オーガニゼーションズ)(市民社会組織)の略で、NPO法人、市民活動・ボランティア団体等の志縁団体に限らず、婦人会、老人会、PTAといった地縁団体・組織も含めての呼称。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他			1,424	1,424	1,424	1,424
	一般財源						
事業費		0	0	1,424	1,424	1,424	1,424

期間限定事業 全体計画	総事業費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	負担金、補助 及び交付金		合 計
	1,424		1,424

☐ 新規 ☒ 既存[illegible]

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

本庁方式への移行に向け、既存施設(三日月庁舎及び三日月農村環境センター)の改築と本庁舎として必要な施設面積を確保するため隣接地に増築を行う。また、増築庁舎の建設用地及び駐車場用地が不足しているため、必要となる面積を確保、整備する。

【内容】

H20 耐震診断調査

H21 地質調查、用地測量調查、基本設計、實施設計、用地取得

H22 實施設計、家屋事前調查、停車場整備、施工監理

H23 建設工事(増築 3,773.45㎡、改善センター改修1,416.60㎡の一部)、施工監理

H24 建設工事(三日月庁舎改修 3,124.61m²)、駐車場整備、施工監理

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	期間 限定事業 全体計画	総 事 業 費 (単位:千円)		
財源内訳	国庫支出金								財源内訳	国庫支出金	0
	都道府県支出金									都道府県支出金	0
	地方債	13,900	241,400	914,200	594,400					地方債	1,763,900
	その他			243,019	127,400					その他	370,419
	一般財源	6,068	12,761	781	200					一般財源	23,987
	事業費	19,968	254,161	1,158,000	722,000	0	0			事業費計	2,158,306

事業費内訳 (単位:千円)	旅費	需用費	役務費	委託料	工事請負費		合 計
	23	100	658	21,128	1,136,091		1,158,000

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	住民基本台帳システム改修事業										政策名	総合計画体系	
担当部課	市民部 市民課										施策名		
予算科目	会計 一般	款 2	項 3	目 1	事業 8	戸籍・住基事務費					基本事業名		
法令根拠	住民基本台帳法												
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↘ (開始年度 年度 ~) ↘ (年度 ~ 年度)												

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

住民基本台帳法、住民基本台帳法施行令及び住民基本台帳法施行規則の一部改正に伴い、外国人住民に関する特例を定める改正が行われることとなり、これに対応するため、住民基本台帳システムの改修を行うもの。

【内容】

出入国管理局の在留カード発行システムとの連携のためのシステム変更及び外国人住民の住民票作成のためのシステム改修

外国人登録システムと直接連携している行政システムのプログラム改修

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			15,614			
事業費		0	0	15,614	0	0	0

期間限定事業） 全体計画	総事業費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	委託料		合 計
	15,614		15,614

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	小城市中継センター運営事業										政策名	総合計画体系	2	自然と共生する快適で安全・安心なまち
担当部課	市民部 環境課										施策名		5	循環型社会の形成
予算科目	会計	款	項	目	事業	中継センター運営費					基本事業名		2	ごみ処理体制の充実
	一般	4	2	1	9	4	4							
法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律													
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成22 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)													

事務事業の概要(目的、内容等)

【目的】 小城市内の一般廃棄物(可燃ごみ・不燃ごみ)の適正処理

【内容】

一般家庭から出された一般廃棄物(可燃ごみ・不燃ごみ)を職員が専用の収集車で各地区の集積所を回って定期的に収集している。

集められた一般廃棄物(可燃ごみ・不燃ごみ)は廃棄物中継センターで分別し、可燃ごみについては積替え施設のシューターコンベアで大型パッカー車に積み替え、県施設「クリーンパークさが」まで搬送し焼却処分し、不燃ごみの金属類、ガラス・陶器類等、資源化可能なものは資源物としてリサイクルし、資源物にならないガラス・陶器類のくずは「クリーンパークさが」で埋立て処分する。

この他に、紙類や古布、プラスチック類、蛍光管等は資源物として収集・仕分け・リサイクル処分し、3Rの推進を図っている。

平成23年度予算は、経常経費については前年度を基に、特に廃棄物の処理量見込みなどは実績を基に計上している。小城市で発生する一般廃棄物（可燃ごみ・不燃ごみ）の減量に努め、収集ごみを適正に処理し、合わせて施設の安全かつ効率的な運営を行い、安全・安心な市民生活の確保に努めます。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金		42,460	10,960			
	地方債						
	その他		71,202	67,453	75,000	75,000	75,000
	一般財源		393,550	458,858	450,000	450,000	450,000
	事業費	0	507,212	537,271	525,000	525,000	525,000

事業費内訳 (単位:千円)	報酬	共済費	賃金	旅費	需用費	役務費	委託料	使用料及び賃借料
	3,224	4,813	26,075	27	30,828	983	458,360	2,512
	工事請負費	原材料費	備品購入費	補償、補填及び賠償金	公課費			合 計
	515	200	8,986	480	268			537,271

◆平成23年度計画

23年度は、経常経費の他に施設の安定運営及び収集業務の円滑化のため主に以下のことを計画している。
・収集車購入(3t)1台 一 備品購入費 8,986,000円(登録手数料、税金等込み)

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	総合福祉計画策定事業						政策名	総合計画体系	健康・福祉日本一を目指すまち
担当部課	福祉部 福祉課						施策名		地域福祉の充実
予算科目	会計 一般	款 3	項 1	目 1	事業 250	総合福祉計画策定事業	基本事業名		地域福祉計画の策定
法令根拠	社会福祉法、老人福祉法、障害者基本法、障害者自立支援法								
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

平成23年度が、地域福祉計画、高齢者福祉計画、障害者計画及び第2期障害福祉計画の見直しの年に当たることから、これらの計画を効率よく策定するため本事業により一本化する。

【内容】

地域福祉計画、高齢者福祉計画、障害者計画及び第2期障害福祉計画の見直しを行う。

従来、地域福祉係、高齢福祉係、障がい福祉係で個別に予算計上し策定していたものを、各計画で重複する策定委員の負担軽減と担当係の事務効率化を図るために予算の一本化を行ったものであり、3係を代表し地域福祉係で予算計上し執行を行う。事業名についても、総合福祉計画と言う名称は法的根拠に基づくものではなく、これら計画の総称として便宜的に命名したものである。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他			3,077			
	一般財源			3			
	事業費	0	0	3,080	0	0	0

事業費内訳 (単位:千円)	報酬	共済費	賃金	報償費	需用費	役務費	合 計
	204	193	1,265	225	790	403	3,080

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	通所型介護予防事業							政策名	総合計画体系	3	健康・福祉日本一を目指すまち
担当部課	福祉部 福祉課							施策名		4	高齢者福祉・介護の充実
予算科目	会計 一般	款 3	項 1	目 2	事業 760	通所型介護予防事業		基本事業名		2	地域支援事業の実施
法令根拠	介護保険法・高齢者保健福祉計画										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成18 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)										

事務事業の概要（目的、内容等）

目的

要介護になるおそれの高い高齢者（特定高齢者）を対象に、介護予防事業を提供することで生活機能の低下を防止し、予防給付や介護給付の利用者とならないことを目的としている。

【内容】

- ・特定高齢者と判定された高齢者に対し、訪問・電話連絡を行い、介護予防教室の参加を促す。
・教室参加者を個別にアセスメントし、一定の目標を定めプログラムを作成し、終了時に効果測定等の評価を行う。

○運動器機能向上事業（元気アップ教室） H21年度～

元気アップ教室・ フォローアップ教室 (1日コース) ・小城市社会福祉協議会、慈恵会へ委託 ・きらら、ひまわりのデイサービスで実施 ・参加費 800円/回 ・週1回の3か月間実施	元気アップ教室・ フォローアップ教室 (半日コース) ・清水福祉会へ委託 ・参加費 200円/回 ・週1回の3か月間実施
---	---

○口腔機能向上事業（歯っぴ～らいふ教室） H22年度～

- ・歯科医師会へ委託。
- ・小城市内の協力歯科医院で個別指導を実施。
- ・参加費は無料。
- ・3か月間の6回コースで実施。

○認知機能向上事業(脳いきいき教室) H22年度～

- ・清水福祉会へ委託。
- ・集団でレクリエーションや創作活動、趣味活動を実施。佐賀大学の研修と合同で開催し、学識者の講話や認知症テストも行う。
- ・参加費200円。月2回(隔週)の全12回コースで実施。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他	8,309	15,787	17,683	17,683	17,683	17,683
	一般財源						
事業費		8,309	15,787	17,683	17,683	17,683	17,683

期間限定事業 全体計画	総事業費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	報償費	旅費	需用費	委託料		合 計
	56	46	41	17,540		17,683

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	三日月保健福祉センター指定管理事業						政策名	総合計画体系 健康・福祉日本一を目指すまち 保健・医療の充実と健康づくり 保健事業推進体制の充実																																																													
担当部課	福祉部 健康増進課						施策名																																																														
予算科目	会計一般	款3	項1	目7	事業5	三日月保健福祉センター管理運営費	基本事業名																																																														
法令根拠																																																																					
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成20 年度 ～) ↳ (年度 ～ 年度)																																																																				
事務事業の概要(目的、内容等)																																																																					
[目的] 指定管理者に施設の管理・運営を委託し、民間の企画力、実行力及び技術力を積極的に導入することにより、利用者サービスの向上並びに健康増進に寄与するとともに、経費削減を図る [内容] 三日月保健福祉センターの特徴である充実したトレーニング機器等の設備を有効に活用し、専門知識を持ったスタッフが利用者一人ひとりに合ったトレーニングを実施して、健康増進を図る。 また、各種運動教室等の自主事業を積極的に開催し、三日月保健福祉センターの利活用を促進する。 指定管理者 シンコーススポーツ株式会社 九州支店 指定の期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日																																																																					
<table border="1"><thead><tr><th>事業費の推移 (単位:千円)</th><th>21年度 (実績)</th><th>22年度 (見込み)</th><th>23年度 (計画)</th><th>24年度 (計画・目標)</th><th>25年度 (計画・目標)</th><th>26年度 (計画・目標)</th></tr></thead><tbody><tr><td>国庫支出金</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>都道府県支出金</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>地方債</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>一般財源</td><td>41,026</td><td>41,026</td><td>43,942</td><td>43,550</td><td>43,326</td><td>43,132</td></tr><tr><td>事業費</td><td>41,026</td><td>41,026</td><td>43,942</td><td>43,550</td><td>43,326</td><td>43,132</td></tr></tbody></table>							事業費の推移 (単位:千円)	21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	国庫支出金							都道府県支出金							地方債							その他							一般財源	41,026	41,026	43,942	43,550	43,326	43,132	事業費	41,026	41,026	43,942	43,550	43,326	43,132	<table border="1"><thead><tr><th colspan="3">総事業費 (単位:千円)</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="5">期間限定事業) 全体計画</td><td rowspan="5">財源内訳</td><td>国庫支出金</td></tr><tr><td>都道府県支出金</td></tr><tr><td>地方債</td></tr><tr><td>その他</td></tr><tr><td>一般財源</td></tr><tr><td colspan="2">事業費計</td></tr></tbody></table>		総事業費 (単位:千円)			期間限定事業) 全体計画	財源内訳	国庫支出金	都道府県支出金	地方債	その他	一般財源	事業費計	
事業費の推移 (単位:千円)	21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)																																																															
国庫支出金																																																																					
都道府県支出金																																																																					
地方債																																																																					
その他																																																																					
一般財源	41,026	41,026	43,942	43,550	43,326	43,132																																																															
事業費	41,026	41,026	43,942	43,550	43,326	43,132																																																															
総事業費 (単位:千円)																																																																					
期間限定事業) 全体計画	財源内訳	国庫支出金																																																																			
		都道府県支出金																																																																			
		地方債																																																																			
		その他																																																																			
		一般財源																																																																			
事業費計																																																																					
<table border="1"><thead><tr><th>事業費内訳 (単位:千円)</th><th>委託料</th><th></th><th></th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>43,942</td><td></td><td></td><td>43,942</td></tr></tbody></table>					事業費内訳 (単位:千円)	委託料			合計		43,942			43,942																																																							
事業費内訳 (単位:千円)	委託料			合計																																																																	
	43,942			43,942																																																																	
◆平成23年度計画																																																																					
各種運動教室(有料・無料)の開催 各種自主事業(健康セミナー、夏休み及びクリスマス親子ふれあい会等)の開催 各種イベントに合わせて地元農業生産者との連携による農産物販売																																																																					

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	牛津保健福祉センター指定管理事業					政策名	総合計画体系	健康・福祉日本一を目指すまち		
担当部課	福祉部 健康増進課					施策名		保健・医療の充実と健康づくり		
予算科目	会計 一般	款 3	項 1	目 7	事業 557	牛津保健福祉センター管理運営費		基本事業名	保健事業推進体制の充実	
法令根拠										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成20 年度 ～) ↳ (年度 ～ 年度)									
事務事業の概要(目的、内容等)										
【目的】 指定管理者に施設の管理・運営を委託し、民間の企画力、実行力、及び技術力を積極的に導入することにより、利用者サービスの向上並びに健康増進に寄与するとともに、経費削減を図る。										
【内容】 牛津保健福祉センターの特徴である温泉を利用したお風呂及び温水プール、トレーニング機器等の充実した設備を有効に活用し、専門知識を持ったスタッフが利用者一人ひとりに合ったトレーニングを実施して、健康増進を図る。 また、各種イベント等の自主事業を積極的に開催し、牛津保健福祉センターの利活用を促進する。										
指定管理者 シンコースポーツ、大成サービス株式会社共同事業体 指定の期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日										
事業費の推移 (単位:千円)							期間限定事業) 全体計画	総事業費 (単位:千円)		
財源内訳	国庫支出金							国庫支出金		
	都道府県支出金							都道府県支出金		
	地方債							地方債		
	その他							その他		
	一般財源	44,421	46,884	45,259	44,063	42,974		43,137	一般財源	
事業費		44,421	46,884	45,259	44,063	42,974	43,137	事業費計		
事業費内訳 (単位:千円)		委託料			合 計					
		45,259			45,259					
◆平成23年度計画 各種運動教室(有料・無料)の開催 各種自主事業(グランドゴルフ大会、お楽しみ劇場、有料コンサート等)の開催 周辺整備(ひまわり、コスモス祭り等)イベントの開催 各種イベントに合わせて地元農業生産者との連携による農産物販売										

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	牛津保健福祉センター維持管理事業					政策名	総合計画体系 3 1 1	健康・福祉日本一を目指すま ち
担当部課	福祉部 健康増進課					施策名		保健・医療の充実と健康づくり
予算科目	会計 一般	款 3	項 1	目 7	事業 557	基本事業名		保健事業推進体制の充実
法令根拠								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 (開始年度 平成15 年度 ～) (年度 ～ 年度)							

事務事業の概要 (目的、内容等)

【目的】

牛津保健福祉センターを適切に管理することにより、利用者に安全で快適な施設利用を提供する。

【内容】

指定管理事業において実施される管理・運営を除く、牛津保健福祉センターの維持管理を行う。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	総事業費 (単位:千円)	
財源内訳	国庫支出金							期間限定事業 全体計画 財源内訳	国庫支出金
	都道府県支出金								都道府県支出金
	地方債								地方債
	その他	4,673	7,980	15,036	10,000	10,000	10,000		その他
	一般財源	6,315	5,160	1,186	2,000	2,000	2,000		一般財源
事業費		10,988	13,140	16,222	12,000	12,000	12,000	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	需用費	役務費	工事請負費	負担金	積立金	合 計
	1,091	83	14,479	12	557	16,222

◆平成23年度計画

【主な事業費】

プール棟空調設備改修工事 8,479千円

オープン以来、7年間を経過しているため、地下ピットに設置しているプール棟専用空調設備が老朽化(一部破損)しているため、プール棟専用空調設備を改修する。
(エアーハンドリングユニット、ダクト撤去・再取付、温水配管撤去・再取付等)

温泉水熱交換器設置工事 5,000千円 ・ LED照明交換工事 1,000千円

高温の温泉水を温泉水熱交換器で熱に変換させ、安定した放熱源として利用し、ボイラーの燃料費の削減を図る。更に、熱交換して低温になった温泉水を内風呂及び露天風呂にかけ流すことにより、温泉循環システムの電力量及び上水道の使用量を削減する。

また、館内の照明器具の内、年間を通して使用頻度が高い照明器具をLED照明器具に交換することにより電力量の削減を図る。

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	自殺対策事業						政策名	総合計画体系 健康・福祉日本一を目指すまち		
担当部課	福祉部 健康増進課						施策名		保健・医療の充実と健康づくり	
予算科目	会計一般	款4	項1	目3	事業115	健康づくり推進事業	基本事業名			成人・老人保健の充実
法令根拠	自殺対策基本法									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↓ (開始年度 平成21 年度 ～) ↓ (年度 ～ 年度)									

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

厳しい経済情勢の中、全国の自殺者数が13年連続で年間3万人を超える状況が続いている。ゲートキーパー養成研修会や各種相談事業を充実させて、自殺願望者や自殺で亡くなる人を一人でも多く減らすようにする。

【内容】

平成21年度	心と命を大事にする図書を市内図書館に整備
平成22年度	相談支援のためのゲートキーパー養成の研修会を開催
平成23年度	ゲートキーパー養成研修会の開催、一般市民への普及啓発（講演会、パンフレット配布）、学校に心と命を大事にする図書の整備

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金	200	72	1,200			
	地方債						
	その他						
	一般財源		1		100	100	100
事業費		200	73	1,200	100	100	100

期間限定事業 全体計画	総事業費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	報償費	需用費	委託料	備品購入費		合 計
	54	758	150	238		1,200

◆平成23年度計画

- ①ゲートキーパー養成事業
- ②普及啓発事業
- ③こころといのちの文庫事業

23年度までは佐賀県自殺対策緊急強化基金事業補助金を利用して事業を実施。
24年度以降は一般財源で事業を継続する。

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	子宮頸がんワクチン接種事業										政策名	総合計画体系	3	健康・福祉日本一を目指すまち
担当部課	福祉部 健康増進課										施策名		1	保健・医療の充実と健康づくり
予算科目	会計 一般	款 4	項 1	目 3	事業 6	8	8	予防接種事業			基本事業名		4	感染症対策の推進
法令根拠														
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成22 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)													

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

若い世代で急増している子宮頸がんの罹患を抑えて、死亡及び重度の後遺症を減らす。

【内容】

委託医療機関で実施する。(無料)
 中学1年生及び2年生の女子を対象にワクチン接種を行う。
 24年度以降は中学1年生の女子のみを対象とする。
 接種回数 3回

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金		968	12,736			
	地方債						
	その他						
	一般財源		7,658	12,736	10,530	10,530	15,530
事業費			8,626	25,472	10,530	10,530	15,530

期 間 限 定 事 業 全 体 計 画	総 事 業 費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	役務費	委託料		合 計
	47	25,425		25,472

◆平成23年度計画

ワクチン接種費用1回15,000円×延1,458回
ワクチン接種費用助成1回7,500円×延474回
特例として22年度対象者(中3及び高1の女子)についても助成を行う。(22年度と同額1回7,500円)
23年度までは県にワクチン接種緊急促進基金が造成されているため、その範囲内で1/2の補助がある。
24年度以降の国県補助は未定。

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業										政策名	総合計画体系	3	健康・福祉日本一を目指すまち
担当部課	福祉部 健康増進課										施策名		1	保健・医療の充実と健康づくり
予算科目	会計 一般	款 4	項 1	目 3	事業 6	8	8	予防接種事業			基本事業名		4	感染症対策の推進
法令根拠														
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成22 年度 ～) ↳ (年度 ～ 年度)													

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

ヒブ及び肺炎球菌による乳幼児の感染症（細菌性髄膜炎等）を予防して、死亡及び重度の後遺症を減らす。

【内容】

委託医療機関で実施する。(無料)

生後2か月～5歳未満の乳幼児に規定の回数ワクチン接種を行う。

- ・ヒブワクチンの接種回数
2か月～7か月未満で接種開始 4回
7か月～1歳未満で接種開始 3回
1歳～5歳未満で接種開始 1回
- ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種回数
2か月～7か月未満で接種開始 4回
7か月～1歳未満で接種開始 3回
1歳～2歳未満で接種開始 2回
2歳～5歳未満で接種開始 1回

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金		5,454	31,433			
	地方債						
	その他						
	一般財源		4,999	31,433	29,160	29,160	29,160
事業費			10,453	62,866	29,160	29,160	29,160

事業費内訳 (単位:千円)	需用費	役務費	委託料	扶助費				合 計
	29	1,205	60,882	750				62,866

◆平成23年度計画

ヒブワクチン接種費用1回8,000円×延2,694回

小児用肺炎球菌ワクチン接種費用1回10,000円×延3,933回

23年度までは県にワクチン接種緊急促進基金が造成されているため、その範囲内で1/2の補助がある。

24年度以降の国県補助は未定。

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業										政策名	総合計画体系	3	健康・福祉日本一を目指すまち
担当部課	福祉部 健康増進課										施策名		1	保健・医療の充実と健康づくり
予算科目	会計 一般	款 4	項 1	目 3	事業 6	8	8	予防接種事業			基本事業名		4	感染症対策の推進
法令根拠														
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成23 年度 ～) ↳ (年度 ～ 年度)													

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

接種費用を助成することでワクチン接種を受けやすくし、高齢者の肺炎球菌による肺炎を予防して、死亡及び重症化を減少させる。

【内容】

指定医療機関で予防接種を行う。(5年に1回の接種)
入院等、特別な事由があれば償還払いも可
対象者…75歳以上の者
助成額…3,000円

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			6,750	5,000	5,000	5,000
事業費				6,750	5,000	5,000	5,000

期間限定事業費 全体計画	総事業費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源
		事業費計

事業費内訳 (単位:千円)	扶助費			合 計
	6,750			6,750

◆平成23年度計画

ワクチン接種費用助成3,000円×2,250人(対象者の約40%)
24年度以降は対象者の約30%を見込む

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	三日月南部共乾建設に伴う補助								政策名	総合計画体系	5	交流と連携による質の高い元 気産業のまち
担当部課	産業部 農林水産課								施策名		1	農林業の振興
予算科目	会計	款	項	目	事業				基本事業名		1	農業生産基盤の充実
	一般	6	1	4	3	4	1	農業振興対策事業				
法令根拠												
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (平成23 年度 ～ 平成32 年度)											

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

JAが平成21年度に国庫事業で三日月南部地区に新設した乾燥調製貯蔵施設(カントリーエレベーター)の共同利用組合に対し、その共同利用組合(自己資金分)の一部を助成する。

【内容】

共同利用組合(自己資金) 399,889,000円×助成率 5%=要望助成 19,994,000円

補助内訳 19,994,000円÷10年間=1,999,400円

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			2,000	2,000	2,000	2,000
事業費		0	0	2,000	2,000	2,000	2,000

期間限定事業） 全体計画	総事業費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金 0
		都道府県支出金 0
		地方債 0
		その他 0
		一般財源 19,994
	事業費計 19,994	

事業費内訳 (単位:千円)	負担金、補助 及び交付金		合 計
	2,000		2,000

◆平成23年度計画

事業費(舗装工事及び井戸工事等附帯工事含む) 762,389,000円

県費(国庫) 362,500,000円

共同利用組合(自己資金) 399,889,000円 × 助成率 5% = 要望助成金 19,994,000円

補助内訳 19,994,000円 ÷ 10年間 = 1,999,400円

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	排水ポンプ設備に対する補助								政策名	総合計画体系	5	交流と連携による質の高い元 気産業のまち
担当部課	産業部 農林水産課								施策名		2	水産業の振興
予算科目	会計 一般	款 6	項 3	目 2	事業 3	6	4	水産振興補助事業	基本事業名		1	漁業生産基盤の充実
法令根拠												
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)											

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

佐賀県有明海漁業協同組合芦刈支所が六角川荷揚棧橋に設置する泥土対策の排水ポンプ設備に対する補助を行う。

【内容】

六角川荷揚棧橋の泥土対策の排水ポンプ設備の整備

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			3,238			
事業費		0	0	3,238	0	0	0

期間限定事業 全体計画	総事業費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	負担金、補助 及び交付金		合 計
	3,238		3,238

◆平成23年度計画

・配水ポンプ設備に対する補助金

事業費 3,500,000円

漁協負担	7.5%	$3,500,000\text{円} \times 0.075 =$	262,500円	262,000円
------	------	------------------------------------	----------	----------

市補助金	92.5%	3,500,000円×0.925=3,237,500円	3,238,000円
------	-------	-----------------------------	------------

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	漁業経営構造改善事業								政策名	総合計画体系	5	交流と連携による質の高い元 気産業のまち
担当部課	産業部 農林水産課								施策名		2	水産業の振興
予算科目	会計 一般	款 6	項 3	目 2	事業 3	6	5	漁業経営構造改善事業	基本事業名		1	漁業生産基盤の充実
法令根拠												
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)											

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

佐賀県有明海漁業協同組合が白石町に整備するカキ殻糸状体培養場に対する補助を行う。

【内容】

佐賀県有明海漁業協同組合の各支所等がある小城市、神埼市、佐賀市、白石町、鹿島市、太良町がそれぞれのカキ殻糸状体出荷枚数に応じて補助を行う。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			1,830			
事業費		0	0	1,830	0	0	0

期 間 限 定 事 業 全 体 計 画	総事業費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	負担金、補助 及び交付金		合 計
	1,830		1,830

◆平成23年度計画

事業費	500,000千円
国	50% (250,000千円)
県	15% (75,000千円)
漁協	30% (150,000千円)
関係市町	5% (25,000千円)

小都市の出荷枚数の全体に占める割合 7.32%
小都市の負担 $25,000,000\text{円} \times 0.0732 = 1,830,000\text{円}$

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	沿岸漁業振興特別対策事業						政策名	総合計画体系	5	交流と連携による質の高い元 気産業のまち	
担当部課	産業部 農林水産課						施策名		2	水産業の振興	
予算科目	会計 一般	款 6	項 3	目 2	事業 3	6	沿岸漁業振興特別対策事業		基本事業名	1	漁業生産基盤の充実
法令根拠											
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)										

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

佐賀県有明海漁業協同組合芦刈支所と福富支所が共同で使用するノリ養殖の指導船の建造に対する補助を行う。

【内容】

指導船による養殖指導により、病害発生時の迅速な対応が可能となり、ノリの品質の向上を図る。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金			1,356			
	地方債						
	その他						
	一般財源			1,356			
事業費		0	0	2,712	0	0	

期間限定事業 全体計画	総事業費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	負担金、補助 及び交付金		合 計
	2,712		2,712

◆平成23年度計画

事業費	12,000,000円
補助対象経費	6,000,000円
県 1/3	2,000,000円
市町 1/3	2,000,000円

小城市のノリの柵数割合 67.8%

小城市の負担 $2,000,000\text{円} \times 67.8\% = 1,356,000\text{円}$

歳出予算計上 県補助金 1,356,000円 + 市負担額 1,356,000円 = 2,712,000円

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	国営総合農地防災事業佐賀中部地区負担金						政策名	総合計画体系	5	交流と連携による質の高い元 気産業のまち
担当部課	産業部 農村整備課						施策名		1	農林業の振興
予算科目	会計 一般	款 6	項 1	目 10	事業 387	国県営土地改良対策事業費	基本事業名		1	農業生産基盤の充実
法令根拠	土地改良法第90条第9項									
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ～) ↳ (年度 ～ 年度)									

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

災害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定を図り、併せて国土保全に資することを目的とし、地盤沈下等により機能低下した用水施設の改修を行い、施設の機能回復を図り、また排水施設の整備を行い、受益地内の排水機能を強化することを目的としている。

【内容】

国営総合農地防災事業「佐賀中部地区」が、平成2年度に着手し平成22年度末までに完了する予定となっている。そのため、本事業にかかる負担金を、平成23年度から平成39年度までの17年間（元金償還2年据置、15年償還）で支払う必要があり、「利子負担軽減」を図るため、平成23年度に一括して償還金を支払う予定としている。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債			695,700			
	その他						
	一般財源			77,300			
事業費		0	0	773,000	0	0	0

期 間 限 定 事 業 全 体 計 画	総 事 業 費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	負担金、補助 及び交付金		合 計
	773,000		773,000

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	佐賀西部土地改良区(仮称)設立準備事務局負担金						政策名	総合計画体系	5	交流と連携による質の高い元 気産業のまち
担当部課	産業部 農村整備課						施策名		1	農林業の振興
予算科目	会計 一般	款 6	項 1	目 10	事業 387	国県営土地改良対策事業費	基本事業名		1	農業生産基盤の充実
法令根拠										
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)									

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

嘉瀬川ダムを水源とした農業用水の合理的で適正な水配分と、国営筑後川下流土地改良事業や関連する県営事業で造成された用水施設の維持管理を行い、農業生産の向上と農業経営の安定を図ることを目的としている。そのため、土地改良区事務局の設立準備として負担金を支払うものである。

【内容】

国営筑後川下流土地改良事業で造成された佐賀西部高域線・多久導水路、県営水利区域内農地集積促進整備事業で造成された農業用水路及び分水口を維持管理し、また国営筑後川下流土地改良事業で造成された佐賀西部導水路については、関係する市町からの委託を受けて、操作等を行う予定としている佐賀西部土地改良区（仮称）を設立するための、法手続き準備や地元調整を行う事務局を設置するものである。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			6,650			
事業費		0	0	6,650	0	0	0

期 間 限 定 事 業 全 体 計 画	総事業費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	負担金、補助 及び交付金		合 計
	6,650		6,650

☐ 新規 ☒ 既存[illegible]

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

団体営事業等で造成された農業水利施設の有効利用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全するためコストの最小化や財政負担の平準化を図るストックマネジメントの手法を導入し、施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じる。

国50% (55) 県15% 受益者5%(20%) ※◇=特農指定地区 ()=揚水施設

【内容】

5ヵ年間で揚水機6施設、制水門6施設、ハイライン2施設の補修を実施する。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金		4,025	4,285	4,250	3,550	7,800
	都道府県支出金		1,125	1,230	1,200	1,065	2,340
	地方債						
	その他		1,500	710	1,600	655	1,080
	一般財源		1,808	3,847	950	1,830	4,380
	事業費		8,458	10,072	8,000	7,100	15,600
期 間 限 定 事 業) 全 体 計 画	総 事 業 費 (単位:千円)						
	国庫支出金						23,910
	都道府県支出金						6,960
	地方債						0
	その他						5,545
	一般財源						12,815
	事業費計						49,230

事業費内訳 (単位:千円)	需用費	役務費	委託料	工事請負費	負担金、補助 及び交付金		合 計
	20	7	820	9,020	205		10,072

◆平成23年度計画

- ・制水門補修 3箇所
- ・晴田ハイライン補修 1施設

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	砥川地区鉱害復旧農業施設維持管理事業						政策名	総合計画体系	5	交流と連携による質の高い元気産業のまち
担当部課	産業部 農村整備課						施策名		1	農林業の振興
予算科目	会計 一般	款 1	項 1	目 1	事業 3	砥川地区鉱害復旧農業施設維持管理費	基本事業名		3	生産性の向上、ブランド化の促進
法令根拠	臨時石炭鉱害復旧法、小城市鉱害復旧施設維持管理基金条例									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成13 年度 ～) ↳ (年度 ～ 年度)									

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

臨時石炭鉱害復旧事業により整備された果樹園鉱害施設の維持管理事業を行うことを目的としているもので、鉱害復旧施設維持管理基金で運用している。

【内容】

維持管理として、電気料の支払い、施設の保守点検委託、修繕及び改修工事を行っている。施設の管理は、地元の砥川西部みかん共同灌水防除組合（内砥川地区）へ委託している。

施設名:砥川地区畑かん施設 場所:小城市牛津町上砥川

改修工事概要 千円

年 度	工事請負	工事概要
平成21年度	134,133	配水管3,814m, 末端施設5.7ha
平成22年度	232,058	配水管4,435m, 末端施設8.4ha
平成23年度	234,210	配水管2,332m, 末端施設9.3ha
合 計	600,401	

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他	152,098	268,711	253,490	10,000	10,000	10,000
	一般財源	7,678	18,782	0	0	0	0
	事業費	159,776	287,493	253,490	10,000	10,000	10,000

事業費内訳 (単位:千円)	旅費	需用費	役務費	委託料	工事請負費	補償、補填 及び賠償金	積立金	合 計
	156	2,340	109	12,659	234,210	1,908	2,108	253,490

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	即戦力企業誘致基盤整備事業						政策名	総合計画体系	[5]	交流と連携による質の高い元 気産業のまち	
担当部課	産業部 商工観光課						施策名		[3]	商工業の振興と新産業の育 成	
予算科目	会計 一般	款 7	項 1	目 3	事業 9	2	3		基本事業名	[4]	優良企業の誘致
法令根拠	無										
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (平成20 年度 ~ 平成23 年度)										

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的·内容】

企業誘致体制の強化を図り、工業適地の選定に努めるなど誘致活動を積極的に展開し、優良企業の立地を促進するための基盤整備を行う。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財 源 内 訳	国庫支出金						
	都道府県支出金		20,000				
	地方債						
	その他		239,812	69,110			
	一般財源	6,359		302			
事業費		6,359	259,812	69,412	0	0	0

期間限定事業 全体計画	総事業費 (単位:千円)		
	財源内訳	国庫支出金	0
		都道府県支出金	20,000
		地方債	0
		その他	308,922
		一般財源	11,432
		事業費計	340,354

事業費内訳 (単位:千円)	委託料	工事請負費		合 計
	17,061	52,351		69,412

◆平成23年度計画

- ・施工管理業務委託
- ・確定測量及び分合筆登記業務委託
- ・井戸水調査ボーリング及び影響調査業務委託
- ・造成地維持管理委託
- ・小城岩蔵工業団地造成工事(一工区)
- ・小城岩蔵工業団地造成工事(二工区)

☐ 新規 ☒ 既存[illegible]

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

本市の観光、特産品、イベント及びコミュニティーの情報等をFMラジオ局で番組を作成し、情報発信を行なう。

【内容】

FMラジオの放送事業者へ業務委託して、本市の観光、特産品及びイベント等の情報発信の番組を作成する。番組は毎週木曜日の12時から55分間の番組として、市内業者の宣伝等も含めリアルタイムな情報を提供できるものとする。

(佐賀県ふるさと雇用再生基金事業)

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金	10,279	20,366	20,389			
	地方債						
	その他						
	一般財源						
	事業費	10,279	20,366	20,389	0	0	0

期間限定事業 全体計画	総事業費 (単位:千円)		
	財源内訳	国庫支出金	0
		都道府県支出金	51,034
		地方債	0
		その他	0
		一般財源	0
	事業費計		51,034

事業費内訳 (単位:千円)	委託料		合 計
	20,389		20,389

◆平成23年度計画

・観光資源、イベント情報、特産品及びコミュニティ情報等を「 LOVE OG」で毎週木曜日の午後12時から55分間放送する。

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	小城市宣伝隊事業						政策名	総合計画体系	[5]	交流と連携による質の高い元気産業のまち
担当部課	産業部 商工観光課						施策名		[4]	観光の振興
予算科目	会計 一般	款 7	項 1	目 4	事業 100	観光事務費	基本事業名		[3]	観光PR活動の強化
法令根拠	無									
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ～) ↳ (平成22 年度 ～ 平成23 年度)									

事務事業の概要 (目的、内容等)

【目的】

本市が有する観光資源、特産品、農海産物及びイベント等の宣伝並びにふるさと納税の推進等を行なう。

【内容】

イメージキャラクターを含む小城市宣伝隊を結成し、市内外で開催されるイベントへの参加や、近県及び大阪、東京などへ出向き小城市の宣伝を行なう。

(佐賀県重点分野雇用創造事業)

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金		23,029	21,280			
	地方債						
	その他						
	一般財源						
	事業費	0	23,029	21,280	0	0	0

期間限定事業) 全体計画	総事業費 (単位:千円)	
	財源内訳	
	国庫支出金	0
	都道府県支出金	44,309
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	0
	事業費計	44,309

事業費内訳 (単位:千円)	委託料		合 計
	21,280		21,280

◆平成23年度計画

・市内外のイベント及び観光物産展等多数出向き、観光資源、特産品、農海産物及びイベント等の宣伝並びにふるさと納税PR活動を実施。

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	本庁舎アクセス道路整備事業								政策名	総合計画体系	[1]	県央に光る交流拠点のまち
担当部課	建設部 建設課								施策名		[4]	道路・交通網の整備
予算科目	会計一般	款8	項2	目3	事業143	道路新設改良事業			基本事業名		[3]	市道の整備
法令根拠	道路法											
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (平成23 年度 ~ 平成24 年度)											

事務事業の概要(目的、内容等)

【目的】

本路線の江利・大寺線については、三日月小学校、三日月中学校への通学路となっているが歩道の整備はなされていない。また、県道小城・牛津線及び国道203号から県道川上・牛津線への抜け道となっている上、平成24年度に予定している小城市新庁舎完成に伴い、交通量の増加が予想される。このため道路拡幅により歩道を片側に設置し、歩行者の安全の確保を図るものである。

また、庁舎南にある道路についても、平成24年度に予定している小城市新庁舎完成に伴い、交通量の増加が予想されるため、歩行者の安全確保を図るため、平成23年度より事業を開始し、新庁舎完成までには整備を完了させる必要がある。

【内容】

江利・大寺線(道路改良、歩道整備)

庁舎南道路（道路改良、歩道整備）

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債			36,500	131,100		
	その他						
	一般財源			5,020	7,000		
	事業費	0	0	41,520	138,100	0	0

期間限定事業) 全体計画	総事業費 (単位:千円)		
	財源内訳	国庫支出金	
		都道府県支出金	0
		地方債	167,600
		その他	0
		一般財源	12,020
事業費計		179,620	

事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	補償、補填及び賠償金		合 計
	20	3,000	30,000	7,500	1,000		41,520

◆平成23年度計画

平成23年度は新庁舎完成に間に合うよう市道江利・大寺線の家屋事前調査と庁舎南道路の拡幅工事を行う。

江利・大寺線は家屋事前調査7戸

庁舎南道路は用地購入と水道管移設及び改良工事110mです。

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	道整備交付金事業（市道）								政策名	総合計画体系	1	県央に光る交流拠点のまち
担当部課係等	建設部 建設課								施策名		4	道路・交通網の整備
予算科目	会計 一般	款 8	項 2	目 3	事業 8	10	道整備交付金事業（市道）		基本事業名		3	市道の整備
法令根拠	地域再生法											
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ （ 開始年度 年度 ～ ） ↳ （平成19 年度 ～ 平成23 年度）											

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

佐賀市から唐津市、武雄市への横に走る道路網の整備、佐賀唐津道路及び有明海沿岸道路の地域高規格道路の整備計画などによる交通量の増加が予想される中、市道については、幅員が狭く改良が進んでいない状況である。通勤・通学・通院時の渋滞、車・歩行者の危険を解消するため、国道・県道・市道の連携した安全な道路整備を行う。

【内容】

山崎・納所線(橋梁補修)

北小路・市民病院線(道路改築、歩道整備)

山彦・北浦線(橋梁上部工)

長神田・立物線（橋梁上部工、道路改良）

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金	57,500	78,528	27,972			
	都道府県支出金						
	地方債	37,700	73,000	43,000			
	その他			7			
	一般財源	19,879	21,338	11,766			
	事業費	115,079	172,866	82,745	0	0	0

事業費内訳 (単位:千円)	共済費	賃金	需用費	委託料	使用料及び賃借料	工事請負費	補償、補填及び賠償金	合 計
	193	1,265	50	3,000	237	77,000	1,000	82,745

◆平成23年度計画

・平成23年度は、昨年に引き続き長神田・立物線の改良工事を行う。工事内容としては道路の拡幅工事と歩道設置工事470mを行う。

参考 国費ベース

市道名	内 容	延長 (m)	H19	H20	H21	H22	H23	計
長神田・立物線	道路改良、歩道	470		31,000	58,000	126,000	74,000	289,000
北小路・市民病院線	道路改良、歩道	170	22,000	12,000	23,000	11,000		68,000
山彦・北浦線	道路改築(歩道橋)	60	15,500	23,000	17,000	19,000		74,500
山崎・納所線	橋梁補修	104	38,500	28,000				66,500
計		804	76,000	94,000	98,000	156,000	74,000	498,000
交付金			38,000	47,000	57,500	78,528	27,972	249,000
市負担			38,000	47,000	40,500	77,472	46,028	249,000

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	スマートインターチェンジ整備事業						政策名	総合計画体系	1	県央に光る交流拠点のまち
担当部課	建設部 建設課						施策名		4	道路・交通網の整備
予算科目	会計 一般	款 8	項 2	目 3	事業 8	8	基本事業名		1	高速交通体系整備の促進
法令根拠	スマートインターチェンジ[高速道路利便増進事業]制度実施要綱									
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ～) ↳ (平成18 年度 ～ 平成26 年度)									

事務事業の概要 (目的、内容等)

【目的·内容】

スマートインターチェンジ制度実施要綱の制定により、既存PAを利用した安価なインターチェンジの設置が可能となった。小城市内に存在する長崎自動車道小城PAにスマートインターチェンジを設置し、高速交通体系整備を促進させ、交流人口の増加させることを目的とする。

関係機関事前協議→地区協議会設置→連結申請→連結許可→詳細設計→用地測量→用地取得→文化財調査→本体工事の順で事業を進めていく。平成22年時点で関係機関との事前協議の段階。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金				38,000	25,000	30,000
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	76	76	8,138	38,138	69,138	45,138
	事業費	76	76	8,138	76,138	94,138	75,138

総事業費 (単位:千円)			
期間限定事業 全体計画	財源内訳	国庫支出金	93,000
		都道府県支出金	0
		地方債	0
		その他	0
		一般財源	169,885
		事業費計	262,885

事業費内訳 (単位:千円)	報償費	旅費	需用費	委託費	使用料及び賃借料		合 計
	92	15	19	8,000	12		8,138

◆平成23年度計画

- ・地区協議会開催および高速自動車道との連結申請
- ・道路詳細設計
- ・路線測量

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	中心市街地活性化事業						政策名	総合計画体系	①	県央に光る交流拠点のまち
担当部課	建設部 都市整備推進室						施策名		②	市街地の整備
予算科目	会計 一般	款 7	項 1	目 5	事業 851	中心市街地活性化事業	基本事業名		③	市街地の計画的整備
法令根拠	中心市街地活性化法 都市再生特別措置法 等									
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (平成21 年度 ~ 平成26 年度)									

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的·内容】

長い歴史の中で地域の文化を育み、商業機能を始め、地域における人、モノ、文化などの交流拠点としての役割を担ってきた小城中心市街地は、現在急速に空洞化が進行しており、このまま放置すれば中心部の衰退が周辺地域は勿論のこと、小城市全体の魅力と活力の低下へ波及、或いはマイナスイメージへと繋がる懸念される。

そこで、小域中心市街地を屋根のない博物館構想とまちの駅ネットワークという新しい概念を導入し、地域の持つポテンシャル（歴史・文化遺産、人材、景観等）を最大限に引き出す住民参加を基調とした「賑わいづくり」と良好な都市景観の中で、様々なライフスタイル・ライフステージを彩る活力と潤いのある「暮らしづくり」を目標として、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進し、地域経済の建て直しを図るとともに、多くの市民にとってコンパクトで暮らしやすく賑わいのある街を実現していく。

また、小城市の顔として地域文化の継承・蓄積と創造により小城独自の文化を発信し続ける魅力的で選ばれる都市（まち）づくりを行う。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	期間 限定事業 全体計画	総 事 業 費 (単位:千円)		
財源内訳	国庫支出金		19,000	4,700	86,080	283,050	388,791		財源内訳	国庫支出金	781,621
	都道府県支出金	5,176	13,766	15,351						都道府県支出金	34,293
	地方債		0	0	92,500	317,000	442,000			地方債	851,500
	その他		5	7	7	7	7			その他	33
	一般財源	8,457	12,246	33,539	43,914	61,304	66,831			一般財源	226,291
	事業費	13,633	45,017	53,597	222,501	661,361	897,629			事業費計	1,893,738

事業費内訳 (単位:千円)	報酬	共済費	旅費	需用費	役務費	委託料	使用料及び賃借料	負担金、補助及び交付金	合 計
	1,265	189	210	213	45	40,014	74	11,587	53,597

■23年度中心市街地活性化事業 (款) 7 (項) 1 (目) 5

	事業名	概要
1	中心市街地活性化事務事業	中心市街地活性化事業を推進するための事務費
2	中心市街地活性化基本計画推進事業	3人の中心市街地活性化推進員を設置し、情報発信及びコンセンサス形成、空き店舗対策、個別事業の組成支援、イベント等の企画・実施等を行う。
3	中心市街地活性化基本計画フォローアップ・モニタリング業務	中心市街地活性化基本計画フォローアップ・モニタリング業務
4	まちなか市民交流プラザ等整備基本計画・基本設計策定業務	まちづくり活動をサポートするまちづくりセンター機能や観光情報発信機能などを備えた市民や観光客の交流拠点・起点となる施設整備基本計画・基本設計の策定を行う。
5	JR小城駅周辺環境整備計画策定業務	中心市街地の玄関口であるJR小城駅の利便性の向上と安全で快適な歩行者空間等の確保等を図ると共に築100年の趣のある駅舎を活かした再整備を行うための整備計画を策定する。
6	小城公園高質化推進事業・測量基本設計業務	小城公園一帯を景観に配慮した高質な緑地空間として整備すると共に、市民や観光客等の癒しと交流の場としての空間整備を行うために測量・基本設計を行う。
7	中心市街地景観形成ガイドライン作成事業	中心市街地の良好な景観・風景を保全・活用するため、景観形成ガイドラインの作成を行う。
8	市戦略的中心市街地商業等活性化支援事業補助金	空店舗対策や賑わいイベントの仕掛け、民間事業のコーディネート等による中心市街地の再生を図るタウンマネジャーの設置経費に対し補助する。
9	中心市街地活性化協議会補助金	まちなかの空き店舗を活用した賑わい拠点施設整備や中心市街地への来街者に対するおもてなし機能を高めるためのまちの駅ネットワークの構築事業に対し補助する。
10	中心市街地商店街元気づくり事業補助金	個人事業者や商店街団体等が新たに开店又は空き店舗等を商店やコミュニティ施設等として活用するための初期投資費用や賑わいづくりイベント等の費用に対し助成を行う。
11	中心市街地まちづくり活動支援事業補助金	地区の資源（歴史文化、土地等）を見直し、その活用策や良好なコミュニティの形成を図るソフト事業など、まちづくりに参画する地区住民の知恵を集め「まちづくり活動計画」を作成し、実施する費用に対し助成を行う。

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	小城市土地利用方針作成事業								政策名	総合計画体系	1	県央に光る交流拠点のまち
担当部課	建設部 都市整備推進室								施策名		1	計画的な土地利用の推進
予算科目	会計 一般	款 8	項 5	目 1	事業 150	まちづくり事務費			基本事業名		1	土地利用計画の策定
法令根拠	都市計画法											
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ～) ↳ (平成23 年度 ～ 平成24 年度)											

事務事業の概要(目的、内容等)

【目的】

本市は、平成20年に「小城市都市計画マスタープラン」を策定し、平成22年10月に市全域が都市計画区域に指定されたものの、用途地域等具体的な土地利用の設定がなく、各地区の将来像や整備目標を達成するための具体的な計画立案が困難な状況にある。このようなことから、今後新たな事業計画の立案に当たって、各地区に顕在化する都市・地域的な課題や問題点の現状整理を行うために、基礎調査や住民意向の把握を行い、市全域の事業を考慮した構想図を作成し、土地利用方針を策定する。

【内容】

平成23年度においては、総合計画や都市計画マスタープラン等の上位計画の整理を行い、その中に位置づけられる方針や目標指標、事業の整理を行う。また、人口や世帯数、高齢化率等の推移や土地利用状況、生活圏状況、開発動向等についての現状・課題整理を行う。

また、翌年度については、住民意向把握聞き取り調査を行い、生活実態や課題等の整理と将来像を検討し、土地利用方針を作成する。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			7,119	6,132		
事業費		0	0	7,119	6,132	0	0

期 間 限 定 事 業 費 全 体 計 画	総事業費 (単位:千円)		
	財源内訳	国庫支出金	0
		都道府県支出金	0
		地方債	0
		その他	0
		一般財源	13,251
	事業費計		13,251

事業費内訳 (単位:千円)	委託料		合 計
	7,119		7,119

◆平成23年度計画

○基礎調査報告書の作成 ○庁内検討会、審議会の開催

☐ 新規 ☒ 既存[illegible]

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

人口減少や高齢化が急速に進行する芦刈地区において、定住人口の増加、交流人口の増加を目標に掲げ、芦刈庁舎周辺の36.5haを整備計画区域に設定し、平成19年度から国のまちづくり交付金を受けて総合的なまちづくり事業を実施している。

【内容】

事業内容は、地域交流センター、道路・歩道、公園等を一体的に整備するとともに、まちづくり活動推進事業や地域創造支援事業等のソフト事業を計画的に実施していく。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金	12,800	52,800	31,640			
	都道府県支出金						
	地方債	45,600	100,600	96,100			
	その他			250			
	一般財源	10,474	61,971	28,521			
	事業費	68,874	215,371	156,511	0	0	0

総事業費 (単位:千円)	
国庫支出金	149,240
都道府県支出金	
地方債	262,500
その他	250
一般財源	119,506
事業費計	531,496

期間限定事業)

全体計画

財源内訳

事業費内訳 (単位:千円)	需用費	役務費	委託料	工事請負費	備品購入費	その他	合 計
	714	70	10,425	135,304	8,676	1,322	156,511

◆平成23年度計画

地域交流センター整備事業、戸崎川遊歩道整備事業、集落ネットワーク型地域力づくり推進事業を実施予定

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	特定環境保全公共下水道事業(三日月処理区)						政策名	総合計画体系 2自然と共生する快適で安全・安心なまち 4下水道の整備 1地域条件に応じた下水道整備の推進
担当部課	建設部 下水道課						施策名	
予算科目	会計 下水	款 1	項 2	目 2	事業 276	三日月処理区事業費	基本事業名	
法令根拠	下水道法							
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (平成13 年度 ~ 平成37 年度)							

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

家庭や事業所から排出される汚水を浄化することで公共水域の水質保全を図ると共に、水洗トイレの設置により衛生的で快適な生活環境を創出するため下水道事業の整備を推進する。

【内容】

計画面積約272haを特定環境保全公共下水道事業により整備する。平成23年度は管渠整備を主に施工する。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	期間限定事業) 全体計画	総事業費 (単位:千円)		
財源内訳	国庫支出金	296,165	230,071	156,625	346,500	553,200	142,200		財源内訳	国庫支出金	7,913,984
	都道府県支出金	0	16,794	8,084	0	0	0			都道府県支出金	24,878
	地方債	345,300	221,426	167,034	313,100	471,500	111,700			地方債	7,235,900
	その他	17,765	45,854	19,121	33,100	38,500	46,300			その他	667,056
	一般財源	26,647	38,209	39,693	36,500	56,000	15,800			一般財源	1,032,582
	事業費	685,877	552,354	390,557	729,200	1,119,200	316,000			事業費計	16,874,400

事業費内訳 (単位:千円)	需用費	役務費	委託料	使用料及び賃借料	工事請負費	補償、補填及び賠償金	その他	合 計
	481	146	40,880	711	331,050	9,000	8,289	390,557

◆平成23年度計画

平成23年度において、大寺・四条・三ヶ島・佐織・初田地内の管渠布設工事を施工する予定である。
平成24年度以降は三日月浄化センター建設工事(3・4/10池)、設備工事(3/10池)及び大寺・佐織・三ヶ島・
四条・島溝・社・遠江地内の管渠布設工事を施工する予定である。

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	特定環境保全公共下水道事業 (芦刈処理区)										政策名	総合計画体系	2	自然と共生する快適で安全・安心なまち
担当部課	建設部 下水道課										施策名		4	下水道の整備
予算科目	会計	款	項	目	事業						基本事業名		1	地域条件に応じた下水道整備の推進
	下水	1	2	2	2	7	7	芦刈処理区事業費						
法令根拠	下水道法													
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (平成16 年度 ~ 平成34 年度)													

事務事業の概要(目的、内容等)

【目的】

家庭や事業所から排出される汚水を浄化することで公共水域の水質保全を図ると共に、水洗トイレの設置により衛生的で快適な生活環境を創出するため下水道事業の整備を推進する。

【内容】

計画面積約140haを特定環境保全公共下水道事業により整備する。平成23年度は管渠整備を主に施工する。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	期間 限定事業 全体計画	総 事 業 費 (単位:千円)		
財源内訳	国庫支出金	310,135	185,018	132,965	84,960	141,600	117,900		財源内訳	国庫支出金	2,322,713
	都道府県支出金	0	6,997	6,045	0	0	0			都道府県支出金	13,042
	地方債	288,900	192,470	133,991	79,020	126,700	108,900			地方債	2,211,300
	その他	25,085	19,255	70,385	15,420	30,600	22,200			その他	264,763
	一般財源	21,543	55,016	1,665	9,420	15,800	13,100			一般財源	207,482
	事業費	645,663	458,756	345,051	188,820	314,700	262,100			事業費計	5,019,300

事業費内訳 (単位:千円)	需用費	役務費	委託料	使用料及び賃借料	工事請負費	補償、補填及び賠償金	その他	合 計
	329	113	21,333	692	280,400	6,030	36,154	345,051

◆平成23年度計画

平成23年度において、住の江・東戸崎・中村・道免地内の管渠布設工事を施工する予定である。
平成24年度以降は東戸崎・西戸崎・道免・新村地内の管渠布設工事を施工する予定である。
また、町分地内の管渠布設工事については、平成24年度以降に牛津処理区で施工する予定である。

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	公共下水道事業(牛津処理区)							政策名	総合計画体系	2	自然と共生する快適で安全・安心なまち
担当部課	建設部 下水道課							施策名		4	下水道の整備
予算科目	会計	款	項	目	事業			基本事業名		1	地域条件に応じた下水道整備の推進
	下水	1	2	2	3	0	7				
法令根拠	下水道法										
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ～) ↳ (平成10 年度 ～ 平成32 年度)										

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

家庭や事業所から排出される汚水を浄化することで公共水域の水質保全を図ると共に、水洗トイレの設置により衛生的で快適な生活環境を創出するため下水道事業の整備を推進する。

【内容】

計画面積約275haを公共下水道事業により整備する。平成23年度は牛津浄化センター建設工事(5・6/8池)、設備工事(5/8池)及び管渠整備を主に施工する。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金	424,400	289,410	404,625	56,640	169,600	
	都道府県支出金	0	22,827	10,190	0	0	
	地方債	430,700	261,058	330,543	52,680	91,500	
	その他	0	20,420	32,516	10,280	42,900	
	一般財源	22,697	58,309	43,516	6,280	16,000	
	事業費	877,797	652,024	821,390	125,880	320,000	0

総事業費 (単位:千円)	
国庫支出金	7,042,546
都道府県支出金	33,017
地方債	6,663,900
その他	566,583
一般財源	909,652
事業費計	15,215,700

期間限定事業
全体計画

財源内訳

事業費内訳 (単位:千円)	需用費	役務費	委託料	使用料及び賃借料	工事請負費	補償、補填及び賠償金	その他	合 計
	965	60	32,481	1,100	755,500	10,850	20,434	821,390

◆平成23年度計画

平成23年度において、牛津浄化センター建設工事(5/6/8池)、設備工事(5/8池)及び練ヶ里・生立ヶ里・宿古賀地内の管渠布設工事を施工する予定である。

平成24年度以降は牛津浄化センター設備工事(6/8池)及び芦刈町町分地内の管渠布設工事を施工する予定である。

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	芦刈小学校建設事業						政策名	総合計画体系	[4]	子どもの笑顔が輝き歴史と文化を誇れるまち
担当部課	教育委員会 教育総務課						施策名		[2]	幼児教育・学校教育の充実
予算科目	会計 一般	款 10	項 2	目 3	事業 955	芦刈小学校改築事業	基本事業名		[9]	学校施設の整備
法令根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律									
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (平成22 年度 ~ 平成26 年度)									

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

老朽化した芦刈小学校の校舎、体育館並びに給食室の改築を行い、施設を使用する児童の安心・安全を図るとともに、学習環境の充実も図る。また、小中一貫教育を見据えた施設整備とする。

【内容】

H22	建設検討委員会設置、基本構想及び基本計画策定、給食室改築実施設計
H23	給食室改築及び既存校舎一部解体、仮設校舎建設、校舎及び体育館改築実施設計
H24	体育館改築
H25	校舎改築
H26	芦刈小中一貫教育開始、既存校舎解体、外構整備

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金			27,670	←	297,534	→
	都道府県支出金						
	地方債		11,500	348,400	←	2,430,700	→
	その他			300			
	一般財源		4,395	20,135	←	127,976	→
事業費		0	15,895	396,505	←	2,856,210	→

期間限定事業 全体計画	総事業費 (単位:千円)		
	財源内訳	国庫支出金	325,204
		都道府県支出金	0
		地方債	2,790,600
		その他	300
		一般財源	152,506
		事業費計	3,268,610

事業費内訳 (単位:千円)	需用費	役務費	委託料	工事請負費		合 計
	30	86	96,120	300,269		396,505

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	放課後児童健全育成事業						政策名	総合計画体系 [4] 子どもの笑顔が輝き歴史と文化を誇れるまち	
担当部課	教育委員会 学校教育課						施策名		[1] 子育て支援の充実
予算科目	会計一般	款10	項1	目37	事業42	放課後児童健全育成事業	基本事業名		[3] 地域における子育て支援の充実
法令根拠	児童福祉法 小城市放課後児童健全育成事業実施要綱								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 昭和42 年度 ～) ↳ (年度 ～ 年度)								

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している小学3年生以下の児童にし、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供し、健全な育成を図る。

女性の就労の増加や少子化が進行する中、保護者に対する仕事と子育ての両立の支援、対象児童への安全で健やかな居場所を提供することにより、子育て支援、児童の健全育成を行う。

【内容】

市内8小学校内の空き教室又は、学校敷地内の専用施設で9クラブ開設。

年間開設日数 250日

第1.3土曜日開設(22年度から)

利用時間 午後6時まで

夏期、冬期、春期休業中も開設

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金	12,500	15,678	18,789	18,000	18,000	18,000
	地方債						
	その他	5,762	12,337	10,531	11,000	11,000	11,000
	一般財源	13,666	15,116	11,093	11,000	11,000	11,000
	事業費	31,928	43,131	40,413	40,000	40,000	40,000

事業費内訳 (単位:千円)	需用費	役務費	報酬・賃金等	旅費	使用料及び賃借料	合 計
	1,306	662	38,182	227	36	

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	児童虐待防止対策強化事業						政策名	総合計画体系 4 子どもの笑顔が輝き歴史と文化を誇れるまち 1 子育て支援の充実 7 要保護児童等への対応の推進
担当部課	教育委員会 こども課						施策名	
予算科目	会計 一般	款 3	項 2	目 1	事業 743	児童虐待防止対策強化事業	基本事業名	
法令根拠	児童福祉法、児童虐待の防止に関する法律							
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成23 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)							

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

児童虐待防止対策強化のための人材養成、予防体制強化のための環境整備を図るとともに、「子どもへの暴力防止プログラム」を実施し、子どもが安心して生活できる地域社会を構築する。

【内容】

児童虐待防止対策強化のための職員研修。

虐待予防のためのパンフレット購入。

子どもを暴力から守るために大人ができることを理解してもらうため、NPO法人を講師に招き、小学校就学前の児童をもつ保護者等を対象に保育園・幼稚園・育児サークル単位ごとに大人(保護者)ワークショップ、幼稚園・保育園職員対象に教職員ワークショップを実施する。また、小学校対象のモデル事業として、子ども・大人(保護者)・教職員ワークショップを実施する。平成23年度のプログラムは、13保育園・幼稚園・認定子ども園、3育児サークル、保育幼稚園職員2回、2モデル小学校で実施予定。

《子どもへの暴力防止プログラム》の主な内容

いじめや虐待などの子どもを取り巻く暴力について

・子どもの話の聞き方

・子どもを暴力から守るために大人ができること

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金				360	360	360
	都道府県支出金			1,538			
	地方債						
	その他						
	一般財源				360	360	360
事業費		0	0	1,538	720	720	720

期 間 限 定 事 業 全 体 計 画	総 事 業 費 (単位:千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	旅費	需用費	委託料		合 計
	267	191	1,080		1,538

◆平成23年度計画

財源内訳については、平成23年度県安心子ども基金積み増し分(10/10)で対応し、平成24年度以降は次世代育成支援対策交付金(1/2)で対応。

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	地域子育て支援拠点事業						政策名	総合計画体系	子どもの笑顔が輝き歴史と文化を誇れるまち
担当部課	教育委員会 こども課						施策名		子育て支援の充実
予算科目	会計 一般	款 3	項 2	目 1	事業 963	地域子育て支援拠点事業	基本事業名		地域における子育て支援の充実
法令根拠	次世代育成支援行動計画								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成23 年度 ～) ↳ (年度 ～ 年度)								

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。

【内容】

- ①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
子育て親子が気軽にかつ自由に利用できる交流の場の設置や子育て親子間の交流を深める取組等の実施

- ②子育て等に関する相談、援助の実施
子育てに不安や悩みなどを持っている親子からの相談やそうした親への援助

- ③地域の子育て関連情報の提供
子育て親子が必要とする身近な地域の育児や子育てに関する情報の提供

- ④子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施
子育て親子や、子育て支援に関わることを希望する市民を対象として、月1回以上、子育て及び子育て支援に関する講習会等を実施

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金			2,216	2,216	2,216	2,216
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他			24	24	24	24
	一般財源			3,157	3,157	3,157	3,157
事業費		0	0	5,397	5,397	5,397	5,397

期 間 限 定 事 業 ） 全 体 計 画	総 事 業 費 (単位:千円)	
	財 源 内 訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	報酬	共済費	賃金	報償費	需用費		合 計
	1,810	307	2,579	541	160		5,397

◆平成23年度計画

小城市児童センター、牛津健康福祉センター、小城健康福祉センターを活動拠点に

- ① 広場事業の充実
 - ② 気軽な相談対応の場や子育てに関する学習機会の提供
 - ③ 子育て情報の発信と提供
- を行っていく。

財源としては、次世代育成支援対策交付金(1/2)で対応。

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	特別保育事業										政策名	総合計画体系	子どもの笑顔が輝き歴史と文化を誇れるまち
担当部課	教育委員会 こども課										施策名		子育て支援の充実
予算科目	会計	款	項	目	事業						基本事業名		地域における子育て支援の充実
	一般	3	2	1	5	6	4	特別保育事業補助					
法令根拠	佐賀県保育対策等促進事業補助金・次世代育成支援対策交付金・小城市特別保育事業等補助金												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↘ (開始年度 平成17 年度 ～) ↘ (年度 ～ 年度)												

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

多様化する保育需要に対応し、児童福祉の向上に資するため、保育園が行う特別保育事業（延長保育促進事業・保育所地域活動事業・障害児保育事業）に対し補助金を交付し子育て支援を行う。

【内容】

- ①延長保育促進事業
保護者の就労条件等により通常の保育時間を延長して保育を実施した私立保育所(3園)を支援する。また、23年度より認定こども園3園が新たに事業を実施する。 ※市立5園も延長保育実施。
- ②地域活動補助事業
小城市内の私立保育園において、多様化する保育需要に対応するため、異年齢児との交流及び高齢者等との交流、子育て講座等の事業に取り組んでいる園に対し、事業に要する費用の一部を補助する。また、23年度より新たに認定こども園に対しても補助を行う。
- ③障害児保育事業
集団保育が可能で、日々通園できる保育に欠ける障害児を受け入れることにより、福祉の増進を図る。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金	8,903	325	625	625	625	625
	都道府県支出金		10,533	21,800	21,800	21,800	21,800
	地方債						
	その他						
	一般財源	8,068	5,592	12,125	12,125	12,125	12,125
事業費		16,971	16,450	34,550	34,550	34,550	34,550

期間限定事業） 全体計画	総事業費 (単位：千円)	
	財源内訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債 その他
	一般財源	
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	負担金、補助 及び交付金		合 計
	34,550		34,550

◆平成23年度計画

21年度までは、延長保育促進事業・保育所地域活動事業・地域子育て支援事業が、次世代育成支援対策交付金(1/2)補助事業で、障害児保育事業は市単独事業。

22年度以降は、延長保育促進事業が佐賀県保育対策等促進事業補助金(2/3)組み替えられ保育所地域活動事業・地域子育て支援事業が、次世代育成支援対策交付金(1/2)補助事業で、障害児保育事業は市単独事業。

市内私立保育園（たちばな保育園・さくら保育園・芦刈保育園）に加え、23年度より認定こども園（若葉保育園・エンジェル保育園・こどもの森牛津）が新たに対象となる。

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	児童手当・子ども手当事業							政策名	総合計画体系	4	子どもの笑顔が輝き歴史と文化を誇れるまち	
担当部課	教育委員会　こども課							施策名		1	子育て支援の充実	
予算科目	会計一般	款3	項2	目2	4	7	9	児童手当・子ども手当		基本事業名	1	地域における子育て支援の充実
法令根拠	平成23年度における子ども手当の支給に関する法律、児童手当法											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 昭和46 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)											

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

・次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するため、中学校修了前までの子どもについて、平成23年度分の子ども手当を支給する。

【内容】

・認定請求書・額改定届(出生、転入)の請求により審査(被用者区分)し支給する【公務員は除く】

支給対象: 15歳到達最初の3月31日までの間にある子どもを養育している方に支給

所得制限: 無し

支給額： 3歳未満20,000円(平成23年2・3月分は13,000円)、3歳以上～中学校修了前 13,000円

支払時期: 原則として、毎年2月、6月、10月にそれぞれの前月分までを支給

補助負担割合:

- | | | | |
|-----------------------|--------|--------|--------|
| ●0歳～3歳未満被用者 | 国18/20 | 県1/20 | 市1/20 |
| ●0歳～3歳未満非被用者 | 国4/6 | 県1/6 | 市1/6 |
| ●3歳～小学校修了前特例給付(第1・2子) | 国29/39 | 県5/39 | 市5/39 |
| ●3歳～小学校修了前特例給付(第3子以降) | 国19/39 | 県10/39 | 市10/39 |
| ●小学校修了後～中学校修了前 | 国10/10 | | |

＊平成24年度以降における子ども手当の支給については、国の平成24年度予算編成過程において改めて検討

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	期 間 限 定 事 業 計 画 全 体 計 画 (財 源 内 訳)	総 事 業 費 (単位:千円)		
財 源 内 訳	国庫支出金	184,594	714,552	874,858	891,370	891,370	891,370		財 源 内 訳	国庫支出金	
	都道府県支出金	111,152	111,661	112,720	112,720	112,720	112,720			都道府県支出金	
	地方債									地方債	
	その他									その他	
	一般財源	111,194	111,677	111,942	111,950	111,950	111,950			一般財源	
事 業 費		406,940	937,890	1,099,520	1,116,040	1,116,040	1,116,040		事業費計		

事業費内訳 (単位:千円)	職員手当等	需用費	役務費	扶助費		合 計
	240	56	1,064	1,098,160		1,099,520

◆平成23年度計画

【3歳未満 1,180人、3歳以上 5,330人】

《支給額》

- 3歳未満の子ども一人につき
・平成23年2・3月分 13,000円/月 ・平成23年4月～平成24年1月分 20,000円/月
○3歳以上中学校修了前の子ども一人につき
・平成23年2月～平成24年1月分 13,000円/月

【平成24年度以降計画】

- 3歳未満の子ども一人につき 20,000円/月
○3歳以上中学校修了前の子ども一人につき 13,000円/月

☐ 新規 ☒ 既存

事務事業名	認可保育園措置事業(私立保育園支援事業)						政策名	総合計画体系	子どもの笑顔が輝き歴史と文化を誇れるまち
担当部課	教育委員会 こども課						施策名		子育て支援の充実
予算科目	会計	款	項	目	事業	基本事業名	地域における子育て支援の充実		
	一般	3	2	2	480				
法令根拠	児童福祉法第24条、第51条第4号								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成17 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

市は、保護者の労働又は疾病その他の政令で定める基準に従い条例で定める事由により、その監護すべき乳児、幼児の保育に欠けるところがある場合において、保護者から申込みがあつたときは、それらの児童を保育所において保育しなければならない。（児童福祉法第24条）

都道府県及び市町村以外の者の設置する保育所における保育を行うことに要する保育費用は市の支弁とする。(児童福祉法第51条第4号)

【内容】

保育所は、児童福祉法に基づく児童福祉施設であり、保護者の委託を受けて、保育に欠ける児童の保育を行うことを目的としており、市町村が保育の実施主体となっている。民間保育所の運営費は市の委託料によって賄われており、市は委託児童数に応じ通常保育に必要な運営費を支払う。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	期間 限定事業 全体計画	総 事 業 費 (単位:千円)		
財源内訳	国庫支出金	73,970	79,016	126,372	126,372	126,372	126,372		財源内訳	国庫支出金	
	都道府県支出金	36,985	39,508	63,186	63,186	63,186	63,186			都道府県支出金	
	地方債									地方債	
	その他	78,184	72,336	71,481	71,481	71,481	71,481			その他	
	一般財源	49,991	54,108	88,137	88,137	88,137	88,137			一般財源	
	事業費	239,130	244,968	349,176	349,176	349,176	349,176			事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	扶助費		合 計
	349,176		349,176

◆平成23年度計画

財源内訳

各階層に応じた入所者負担金を差し引き、国が1/2、県が1/4、市が1/4の割合で負担している。

市内私立保育園(たちばな保育園・さくら保育園・芦刈保育園)に加え、23年度より認定こども園(若葉保育園・エンジェル保育園・こどもの森牛津)が新たに対象となる。

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	学校・地域夢つなぎ応援事業						政策名	総合計画体系 4 2 5	子どもの笑顔が輝き歴史と文化を誇れるまち	
担当部課	教育委員会 生涯学習課						施策名		幼児教育・学校教育の充実	
予算科目	会計一般	款10	項5	目29	事業65	学校・地域夢つなぎ応援事業費	基本事業名		家庭や地域との連携強化、安全対策の推進	
法令根拠										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成23 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)									

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

地域全体で学校等の教育を支援する体制をつくり、住民の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を目指す。

【内容】

学校と地域のコーディネートを行う人材を配置し、学校が地域に求めているものと、地域の人材との結びつきを深め、両者が互いに協力して、小城市を担う子どもたちを地域全体で育てる。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			1,168	1,168	1,168	1,168
事業費		0	0	1,168	1,168	1,168	1,168

期 間 限 定 事 業 ） 全 体 計 画	総 事 業 費 (単位:千円)	
	財 源 内 訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	報酬	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	使用料及び賃借料	合 計
	195	674	18	5	55	170	51	1,168

◆平成23年度計画

芦刈町地域教育協議会 年3回開催

事業啓発チラシ作成・配布

ボランティア募集・登録

学校等への支援内容

・本の読み聞かせ ・プリントの配布、時間計測、回答読み上げ ・野菜づくり指導 ・平和教育（戦争体験談）
調理指導 ・ミシンの使い方指導 ・ダンス指導 ・スケッチ大会時等の交通指導 ・書道、茶道、水墨画指導
・廃油石鹸づくり指導 ・昔あそびの指導 ・芦刈の伝統芸能指導（太鼓浮立、面浮立、芦刈音頭等） ・和紙づく
り指導 ・農産物についての話 ・有明海についての話等

☒ 新規 ☐ 既存

事務事業名	小城市社会体育施設指定管理事業								政策名	総合計画体系	3	健康・福祉日本一を目指すまち
担当部課	教育委員会 生涯学習課								施策名		2	生涯スポーツの充実
予算科目	会計 一般	款 10	項 6	目 2	事業 813	体育施設管理費			基本事業名		1	スポーツ施設の整備充実・有効活用
法令根拠	小城市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例及び施行規則											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳ (開始年度 平成23 年度 ～) ↳ (年度 ～ 年度)											

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

小城市内の社会体育施設を財団法人小城市体育協会に指定管理者として管理・運営業務を委託し、民間活力の導入による効率的かつ柔軟な運営を行なうとともに経費の節減に努める。

【内容】

小城市内の社会体育施設8施設 ①小城市小城体育センター②小城市三日月体育館③小城市牛津体育センター④小城市芦刈文化体育館⑤小城市牛津武道館⑥小城市三日月グラウンド⑦小城市牛津運動公園⑧小城市芦刈運動公園)を平成23年4月から平成28年3月までの5年間管理(運営)を財団法人小城市体育協会(平松克輝会長)に委託するもの。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			40,490	40,000	40,000	40,000
事業費		0	0	40,490	40,000	40,000	40,000

期 間 限 定 事 業 ） 全 体 計 画	総 事 業 費 (単位:千円)	
	財 源 内 訳	国庫支出金
		都道府県支出金
		地方債
		その他
		一般財源
	事業費計	

事業費内訳 (単位:千円)	委託料		合 計
	40,490		40,490

☒ 新規 ☐ 既存[illegible]

事務事業の概要（目的、内容等）

【目的】

郷土小城市が誇る近代書道の祖と言われる書聖・中林梧竹翁の没後100年を平成25年に迎える。梧竹翁の業績をたたえ
るとともに、小城市の文化的・歴史的の魅力を知っていただき小城市に足を運んでもらうため、【書聖・中林梧竹没後100年記
念展】を開催する。

【内容】

〔書聖・中林梧竹没後100年記念事業〕実行委員会を立ち上げ、平成25年1月に小城市立中林梧竹記念館、佐賀県立佐賀城本丸歴史館並びに佐賀県立美術館の3会場において全国からの作品を一同に集め、〔書聖・中林梧竹没後100年記念展〕を開催する。小城市としては、記念展に先立ちプレイベントとして平成23年度を「梧竹さんを探ろう」と称して、講演会、拓本教室(市民を対象に、拓本の採り方)を学び、その学習成果として小城公園内の梧竹関係の石碑の拓本採りを行なう。)並びに梧竹作品の所在確認調査(市内の全世帯を対象に作品の所在を申し出いただき、また「我が家のお宝再発見」と称した専門の先生方による作品検討会を実施する。)を行い記念事業を盛り上げていく。

事業費の推移 (単位:千円)		21年度 (実績)	22年度 (見込み)	23年度 (計画)	24年度 (計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)
財源内訳	国庫支出金						
	都道府県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			3,260	5,500		
事業費		0	0	3,260	5,500	0	0

期 間 限 定 事 業 費 全 体 計 画	総事業費 (単位:千円)		
	財 源 内 訳	国庫支出金	0
		都道府県支出金	0
		地方債	0
		その他	0
		一般財源	8,760
	事業費計		8,760

事業費内訳 (単位:千円)	報償費	需用費	負担金、補助 及び交付金	合 計
	600	160	2,500	3,260

◆平成23年度計画

○市の事業

「梧竹さんを探ろう」

- ・ 梧竹作品所在確認調査
- ・ 我が家の宝再発見
- ・ 拓本教室
- ・ 梧竹関連史跡探訪会
- ・ 講演会

○実行委員会

「梧竹記念展」準備

- ・展示作品の選定・ポスター、チラシ印刷
・出展作品依頼